

県民栄誉章

本章は、スポーツ、文化等の分野での業績が顕著であるとともに、広く県民に敬愛され、社会に明るい希望を与え、秋田県の名を高めた方に対して、その栄誉をたたえ、県民の「郷土意識」を高めようとするものです。

デザインは、
杉の木（県の木「秋田杉」）、
ふきの葉（県の花「ふきのとう」）を
図案化したものです。



秋 田 県 民 歌

（昭和5年10月30日制定）

（ 倉 田 政 嗣 作 詞
文学博士
高 野 辰 之 修 正
成 田 為 三 作 曲 ）

1、
しゅうれい む ひ
秀麗無比なる鳥海山よ
きょうらん ほ
狂瀾吼え立つ男鹿半島よ
しんぴ
神秘の十和田は田沢と共に
な え ほこり こすい
世界に名を得し誇の湖水
さんすいみな し
山水皆これ詩の国秋田

2、
めぐ やまやまれいき
廻らす山山霊気をこめて
おの ね ひび せん こ びりん
斧の音響かぬ千古の美林
ち か こうみやく むげん ほうこ
地下なる鉱脈無限の宝庫
みわた ひろの びょうぼうかす
見渡す広野は渺茫霞み
こがね みの ゆた
黄金と実りて豊けき秋田

3、
あつたねしんえんきょじん おしえ
篤胤信淵巨人の訓
くおん かがや ほくと
久遠に輝く北斗と高く
きんき まも ほしん はえ
錦旗を護りし戊辰の栄は
やどめ じょうとう かお
矢留の城頭花とぞ薫る
れさし ほまれ
歴史はかぐわし 誉の秋田

4、
みんぞくすぐ しつじつ ごうき
民俗勝れて質実剛毅
じ ち たい
正義と自治とのさとしを体し
じんざい あまね はぐく
人材 遍く育みなして
さん りそう も た われら
燦たる理想に燃え起つ我等
しじゅん きょうど ひら
至純の郷土と拓かん秋田

秋田県県民栄誉章顕彰式

日 時 平成30年11月28日（水）

午後3時30分

場 所 秋田市文化会館

1 顕 彰 式

- (1) 開 式
- (2) 「県民歌」斉唱
- (3) 知事式辞
- (4) 秋田県県民栄誉章授与及び記念品贈呈
- (5) 県議会議長祝辞
- (6) 祝電披露
- (7) 閉 式

2 記念報告会

あきたびじょん

秋田県県民栄誉章被顕彰者

秋田県立金足農業高等学校野球部（秋田市）



功 績

第100回全国高等学校野球選手権記念大会において、本県代表として第1回大会の秋田中学以来103年ぶりに準優勝を果たした。全員野球でひたむきに戦い、並みいる強豪校を相手に次々と劇的な勝利を重ねる「雑草軍団」の快進撃は、会場を埋めた観客はもちろん、県内外の多くの人々を魅了した。

地域に根ざした公立農業高校の活躍は、全国に大きな感動を呼び、秋田県の名を高めるとともに、県民に夢と明るい希望をもたらした。

略 歴

昭和7年	創部
昭和59年	第56回選抜高等学校野球大会出場
	第66回全国高等学校野球選手権大会出場 準決勝進出（ベスト4）
平成2年	第62回選抜高等学校野球大会出場
平成7年	第77回全国高等学校野球選手権大会出場 準々決勝進出（ベスト8）
平成10年	第80回全国高等学校野球選手権大会出場
平成11年	第71回選抜高等学校野球大会出場
平成13年	第83回全国高等学校野球選手権大会出場
平成19年	第89回全国高等学校野球選手権大会出場
平成30年	第100回全国高等学校野球選手権記念大会出場 決勝進出（準優勝）
	国民体育大会 第1位

第100回全国高等学校野球選手権記念大会 準優勝までの軌跡

1 回 戦	金足農業高校	5 - 1	鹿児島実業高校
2 回 戦	金足農業高校	6 - 3	大垣日本大学高校
3 回 戦	金足農業高校	5 - 4	横浜高校
準々決勝	金足農業高校	3 - 2	近江高校
準決勝	金足農業高校	2 - 1	日本大学第三高校
決 勝	金足農業高校	2 - 13	大阪桐蔭高校

秋田県立金足農業高等学校校歌

〔 近 藤 忠 義 作 詞
岡 野 貞 一 作 曲 〕

一、
可^う美^ましき郷^{さと} 我^わが金足
霜^{しも}しろく 土^ここそ凍^これ
見^みよ草^{くさ}の芽^めに 日^ひのめぐみ
農^{のう}はこれ たぐひなき愛
日^{にち}輪^{りん}の たぐひなき愛
おおげにや この愛
いざやいざ 共に承^うけて
やがて来^あむ 文化^{あきけ}の黎明^{めいめい}
この道^{みち}に われら拓^{ひら}かむ
われら われら われら拓^{ひら}かむ

野球部員からのメッセージ

「野球への取組、甲子園での準優勝という経験を通して得たもの・感じたこと」

秋田に生きる同世代や後輩たちへ。

金足農業高校野球部 3年生部員のメッセージです。



さ さ き ひろ む
佐々木 大夢 (主将・レフト)

何事にも一生懸命に取り組めば必ず結果はついてきます。皆さんにも必ず応援してくれる人がいると思うので、最後まで諦めず、一生懸命頑張ってください。



よし だ こう せい
吉田 輝星 (ピッチャー)

応援してくれた人に感謝して野球をするという気持ちが大切だと思いました。自分のために力を貸してくれる人に感謝することを忘れないでほしいと思います。



きく ち りょう た
菊地 亮太 (キャッチャー)

諦めないことが大切だと思いました。厳しい状況が多くありましたが、音を上げなかったことが準優勝につながったと思います。諦めずに最後まで頑張ってください。



たか はし ゆう すけ
高橋 佑輔 (ファースト)

努力の大切さを学びました。常にコツコツと努力をしていることを神様は見てくれます。そして仲間の大切さを強く感じました。皆さんも仲間を大切にしてください。



すが わら た く
菅原 天空 (セカンド)

甲子園では、「技術で負けていても気持ちでは負けない。」という心構えで戦いました。皆さんも弱気にならずに目標に向かって頑張してほしいと思います。



うち かわ かず き
打川 和輝 (サード)

甲子園を通して改めて仲間の大切さを学びました。この仲間だからこそ、準優勝できました。同じ目標に向かっていく仲間を大切にしてください。



さい とう り く
斎藤 璃玖 (ショート)

自分一人の努力だけではなく、周りの方々の支えがあるおかげで夢を叶えることができました。周りの方々の支えに感謝し、何事にも真剣に取り組んでください。



おお とも あさ ひ
大友 朝陽 (センター)

親や周りの人からの応援や支えがあったからこそ結果を残すことができました。皆さんも応援されるように頑張ってください。また、その応援に感謝することも大切です。



きく ち ひゅう ぎょ
菊地 彪吾 (ライト)

皆さんに伝えたいことは、仲間の大切さです。チームメイトがいたからこそ自分が成長することができたと思います。皆さんも仲間を信じて頑張ってください。



かわ わ だ ひろ と
川和田 優斗

「自分は～する！」というように、具体的に大きな夢を持ち、強い意志を持って本気で頑張りが続けることが大切です。最後まで諦めず、精一杯頑張ってください。



かね こ もも か
金子 桃華 (マネージャー)

目標を高く持って、最後まで努力を続ければ報われるのだと思いました。自分がやれることは全てやった方がいいです。全力で尽くすことを大切にしてください。



たか はし もも か
高橋 桃佳 (マネージャー)

甲子園大会で準優勝して、3年間選手のサポートをしてきて本当によかったと思います。仲間のために自分が頑張るという姿勢も大切だと思いました。

